誰に対して面子を保ちたいか

—質問紙による日中比較—

○林萍萍¹・米谷淳² (会員)⁽¹⁾神戸大学大学院国際文化学研究科・⁽²⁾神戸大学大学教育推進機構)

キーワード：面子維持、人間関係、日中比較

To whom the Japanese and Chinese want to save face?

Pingping LIN¹, Kiyoshi MAIYA²⁽¹⁾Graduate School of Intercultural Studies, Kobe Univ., ⁽²⁾Institute for Promotion of Higher Education, Kobe Univ.)

Key Words: face saving, human relations, cross-cultural comparison between Japanese and Chinese

目 的

面子に関する行為 (act) について、これまで獲得、喪失、回復等が研究されている。自分を他者によくみせたい、他者からよく評価されたいという気持ちは誰にでもあると考えられる。面子を非常に重視している中国人にとって、自分の面子を潰されないことは無論、自分の面子を保つことも重要である。中国人と日本人は誰の前で、最も面子を保ちたいか。本研究は、質問紙調査によりこの問題を検討する。

方 法

調査対象 日本人大学生 61 人 (男 36 人、女 25 人、平均 19.2 歳・SD=1.06) と、中国人の大学生 65 人と社会人 66 人の計 131 人 (男 60 人、女 71 人、平均 23.9 歳・SD=5.20)

質問紙 面子を保ちたい相手について、「親」「兄弟」「他の親戚」「親友」「友達」「恋人」「クラスメート」「先生」「その他」の 9 項目の中から上位 3 つを選択し、順位をつけてもらった。

手続き 日本人の調査は授業中に質問紙を配布し回答を求めた。中国人の調査はウェブ上で回答を求めた。どちらも匿名で行った。

結 果

中国人社会人の分析結果は除外する。複数の選択肢を選んだ回答者の回答を除いた。日本人 60 人、中国人 56 人のデータを分析して得られた結果を表 1・2 に示す。すべての相手について総合的に評価・比較するため、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点として、順位得点を算出し、平均値により順位づけを行った。

表 1 日本人の面子を保ちたい相手

順位	第1位	第2位	第3位	回答数	合計(順位毎回答数×点数)	加重平均(合計/回答数)
点数	3点	2点	1点			
友達	23	20	4	47	113	2.40
クラスメート	8	12	9	29	57	1.97
恋人	12	3	12	27	54	2.00
親友	9	5	7	21	44	2.10
親	0	9	13	22	31	1.41
兄弟	2	3	7	12	19	1.58
先生	2	4	4	10	18	1.80
親戚	1	3	4	8	13	1.63
後輩	3	0	0	3	9	3.00
先輩	0	1	0	1	2	2.00

表 2 中国人の面子を保ちたい相手

順位	第1位	第2位	第3位	回答数	合計(順位毎回答数×点数)	加重平均(合計/回答数)
点数	3点	2点	1点			
親	20	3	0	23	66	2.87
友達	11	12	10	33	65	1.97
クラスメート	8	9	13	30	55	1.83
恋人	7	5	10	22	41	1.86
親戚	5	9	6	20	39	1.95
先生	1	7	9	17	25	1.47
同僚	0	7	4	11	18	1.64
兄弟	3	2	3	8	16	2.00
上司	1	1	1	3	6	2.00
親友	0	1	0	1	2	2.00

第 1 位をみると、日本人は親を選んだ人が 1 人もおらず、友達を選んだ人が最も多かったのに対し、中国人は親を選んだ人が最も多かった。

また、日中それぞれの順位得点上位 5 位の群の平均値について t 検定したところ、日本人は親より、クラスメート (t (49) =2.92, p<.05)、恋人 (t (47) =2.60, p<.05)、親友 (t (41) =3.13, p<.05) の方が有意に高く、中国人は友達 (t (54) =4.68, p<.05)、クラスメート (t (51) =5.59, p<.05)、親戚 (t (41) =5.23, p<.05)、恋人 (t (43) =5.04, p<.05) より、親の方が有意に高いことが確かめられた。

文化差について t 検定したところ、中国人は日本人と比べ親 (t (43) =10.59, p<.05) の前でより強く面子を保ちたいのに対し、日本人は中国人と比べ友達 (t (78) =2.19, p<.05) の前でより強く面子を保ちたいことが確かめられた。

考 察

本研究の結果から、日本人は友達の前で最も面子を保ちたいのに対し、中国人は家族の前で最も面子を保ちたいことが示唆された。

黄 (2011) によると、家族同士は互いの荣誉と恥辱の経験を共有し、互いの「里子 (lizi, 本質)」を知っているため、社会的相互作用を行う際に「做面子 (zuomianzi, 面子を保つ)」をする必要がないのに対し、友達との間で部分的な荣誉と恥辱を共有し、いつも相手に良いイメージを与えたいため、「做面子」をする必要があるという。しかし、本研究の結果はそれを支持しない。

一人っ子政策が実施された後で生まれ育った現代の中国人大学生は、親に過剰に保護・期待されていると多くの中国人研究者が指摘している。尚 (2000) によると、中国人は幼少時から立派な人間になることで、両親の面目を施し、家族のために名誉を獲得するように教育される。したがって、現代の中国人は両親からの評価を非常に気にしており、親の期待に応えようとするプレッシャーが強く、友達よりも両親に対する面子が重要になっているのだろうと考察される。

一方、日本人の結果は、日本人大学生を対象者に行った質問紙調査において、友人が重要他者、すなわち普段の生活でその人物からどのように思われているか気になる他者として、最も多く挙げられたという小島 (2005) の結果と一致する。

中国人と日本人は異なる面子意識を持っており、それらは異なる対人関係と家庭の教育意識に関わると考えられる。

引用文献

黄 国光 (2011). 人情与面子：中国人的权利游戏 中国人民大学出版社

小島弥生 (2005). 他者からの評価に対する情緒的反応—賞賛獲得欲求・拒否回避欲求および調整焦点による検討—立正大学心理学研究所紀要, (3), 77-93

尚 会鹏 (2000). 中国人与日本人：社会集团、行为方式和文化心理的比较研究 北京大学出版社